

「第9期環境保健調査研究課題」の公募による委託先の決定について

平成24年7月12日  
独立行政法人環境再生保全機構  
予防事業担当理事 栗山 俊勝

「第9期環境保健調査研究課題」の委託先を選定するにあたり、平成24年3月29日から5月15日までの期間をもって公募を行ったところ、44件の応募がありました。

応募のあった調査研究計画書について、公害健康被害予防事業調査研究評価委員会（環境保健分野）の評価結果を基に、別記の14件について採択先として決定いたしましたので、お知らせします。

【問い合わせ先】

独立行政法人環境再生保全機構 予防事業部 事業課

担当：森田、川口、富永、北川

TEL：044-520-9567 FAX：044-520-2134

## 第9期(平成24~25年度)環境保健調査研究課題一覧

分 野	研究課題名	研究代表者	所 属	
(1)気管支ぜん息の発症予防に関する調査研究	①ぜん息発症予防のための客観的評価指標によるスクリーニング基準	気管支ぜん息発症予防のための客観的かつデーターメイド的予知のスクリーニング基準の確立 ぜん息発症予防のための客観的評価指標によるスクリーニング基準	近藤 直実 望月 博之	国立大学法人岐阜大学大 学院 東海大学
	②乳幼児の早期治療、早期介入によるぜん息発症予防効果	ぜん息患者の増悪及び未発症成人の発症の予測のための気道バイオマーカーの確立とその大気汚染物質の影響評価への応用に関する調査研究 新生児からの皮膚バリア機能保持・シンバイオティクス投与による吸入アレルゲン感作・喘鳴・喘息発症の予防に関する研究	滝澤 始 下条 直樹	杏林大学 千葉大学大学院医学研究 院
	③就学期の患者を対象とする新たな健康相談、健康教育のあり方	気管支ぜん息患者の効果的な長期管理支援のための患者アセスメント手法と評価に応じた患者教育プログラム アレルギー専門コメディカルによる喘息・アレルギー疾患自己管理・長期管理指導の質の向上、医療の効率化に関する研究	大矢 幸弘 赤澤 晃	国立成育医療研究セン ター 東京都立小児総合医療セ ンター
	④吸入アレルゲン回避のための室内環境整備の手法と予防効果	就学期の患者を対象とする新たな健康相談、健康教育のあり方に関する研究 吸入アレルゲン回避のための室内環境整備の手法と予防効果	小田嶋 博 福富 友馬	国立病院機構福岡病院 国立病院機構相模原病院
(2)気管支ぜん息・COPD患者の健康回復に関する調査研究	⑤COPDのセルフマネジメント教育プログラムの開発及び効果的な介入方法	吸入アレルゲン回避のための室内環境整備の手法と予防効果 気道炎症、気流閉塞、および気道リモデリングに関するそれぞれの客観的指標を用いたぜん息コントロール状態評価法の確立	石井 幸雄	筑波大学
		客観的指標による喘息コントロール状態の評価	大田 健	国立病院機構東京病院
		小児ぜん息の病態とコントロール状態を反映する新しい客観的評価手法確立に関する研究	藤澤 隆夫	国立病院機構三重病院
	⑥呼吸リハビリテーションの実践及び客観的評価手法	タブレットPCを用いたCOPD患者のセルフマネジメント教育システムの開発と効果的な介入方法に関する調査研究	植木 純	順天堂大学
		呼吸リハビリテーションの実践及び客観的手法に関する研究	千住 秀明	長崎大学
(3)気管支ぜん息の動向等に関する調査研究	①気管支ぜん息患者の予後と変動要因に関する調査研究	気管支喘息患者の予後と変動要因に関する調査研究	谷口 正実	国立病院機構相模原病院